# 石垣市立小中学校 A I 型学習ドリル導入委託事業 仕様書

令和4年度

## 1. 目的

本仕様書は、「GIGA スクール構想」により整備した1人1台端末環境をより有効活用できるよう「AI 型学習ドリル」の導入を行う。

AI 型学習ドリルを導入することにより児童生徒の自学に多方面から学び方を支援し、学びの自律に向けた自分のペースが学びを深め、学びの探求に寄与することを目的とする。

## 2. 契約内容

#### (1)業務範囲

- ア. 石垣市立小中学校全児童生徒アカウント 5,000 ライセンス発行
- イ. 石垣市立小中学校全教員アカウント 600 ライセンス発行
- ウ. 教員操作研修会 全28 校
- エ. サポートヘルプデスク設置 (平日10時~19時迄)
- (2)契約期間:令和4年7月1日から1年間ライセンス
- (3)納入場所:石垣市立小中学校(小学校19校、中学校9校) ※本事業に関する予算の性質上、1年毎の更新とする ※校内フリーライセンスなどは問わないが、校内外での利用を前提とする

## 3. 導入提案にかかる基本的条件

## (1) システム要件

- ア. GIGA スクール構想の実現標準仕様書(文部科学省 令和2年2月) に記載されている要件とすること。
- イ. ブラウザ (Microsoft Edge、および Safari) で稼働すること。
- ウ. アプリで稼働する場合は Microsoft Intune で一括配布が可能な仕様であること。
- エ. 5000 人の児童生徒が同時アクセスしても安定した動作が可能であること。
- オ. ISMS 認証(JIS Q 27001 若しくは ISO/IEC 27001)を取得しているメーカーソフトであること。

#### (2) A I 型ドリル機能

- ア. 学習指導要領に準拠した問題が収録され、教科書に対応して問題が検索できること。
- イ、学校又は家庭のインターネット等を介し、学習を継続できる教材であること
- ウ. 成績を可視化できるなど、成長を実感し個々の学習に対するモチベーション向上 させる仕組みがあること。
- エ. オフライン運用を想定した機能を有すること。
- オ. ひらがな、カタカナ、漢字、数字、アルファベットを手書き機能で文字として認識し、デジタル化できること。
- カ. 正誤判定後、すべての問題で解答例が表示されること。

- キ. 動画コンテンツ等の解説機能があること。
- ク. 理解度に合わせた出題を行い、問題の難易度を自動的に調整すること。
- ケ. 学習計画を立てることができる、又は学習計画立案を支援する機能を有すること。
- コ. 問題の正誤状況から苦手とする単元などを分析できること。
- サ. 国語や英語には児童生徒の音声を録音し、発音や読み方を採点し、フィードバックの機能を有すること。
- シ. 教員が児童生徒に対して習熟度テストを実施できること。

#### (3)管理機能

- ア. 各学校は所属する児童生徒毎の学習結果、学習回数などの情報を学年ごと、クラスごと、個人単位の一覧で確認できること。
- イ. 教員は児童生徒の取り組み状況をリアルタイムで把握することができ、机間巡回 などに生かすことができる仕様があること。
- ウ.問題から選択し、テストとして課題を児童生徒に割り当てることができること。
- エ. 教員は実施した習熟度テストについて児童生徒の解答内容を確認することができること。
- オ. 児童生徒の学習成果物は児童生徒毎に一元管理され、学校を転出、転入しても学 習成果について引き継ぐことができる機能を有すること。
- カ. 教員から児童生徒全員、特定のグループ、個別に Youtube のリンクを含むお知らせを送信することができること。
- キ. 教員が、児童生徒の学習成果物を画面上で確認することや、CSV などで一括ダウンロードすることができる機能を有すること。
- ク. 教育委員会は各学校の取り組む状況について学校ごと及び学年ごとなど学習状況 や学習結果などを確認することができること。
- (4) 教員からの問合せに対する対応及び操作研修会の実施
  - ア. 学校の求めに応じ、学校毎に年1回のオンライン、対面を問わない活用・運用・ 管理の操作研修会を実施すること。
  - イ. ヘルプデスクを設置し、平日 10 時~19 時の時間帯に教員からの日常利用に関する 問い合わせに対応することができること。
  - ウ. 教員向けのサポートサイトが設置され、障害対応時には電話、メールなどで対応 が可能であること。
- (5)教育委員会からの問合せに対する対応及び利用状況などのデータ抽出
  - ア. 学校毎の活用状況などを画面上や $\mathbf{C} \mathbf{S} \mathbf{V}$ などのデータで出力することができること。
  - イ. 抽出できるデータは学校ごとや学年ごとなど様々な選択肢の中から選択できること。